

富士に
ふさわしい
美しい街を

富士市の
工場地色彩ガイドライン

富士にふさわしい美しい街を

富士市は製紙工業を中心に、自動車、機械、化学工業などの工業都市として発展してきました。日本の経済発展に寄与してきた富士市の工場地景観を富士山や駿河湾の美しい景観に調和したより快適な、都市景観に変えていくために、工場地の色彩ガイドラインを作りました。

工場施設の新設や塗り替えに際し、この色彩ガイドラインに従ってカラーデザインをされるようお願い致します。

カラーデザインの進め方

この色彩ガイドラインは、富士市内の工場・エントツ等の工場施設に適用されます。

その他、市長が必要と認める建築物についても適用されます。工場施設の新設や塗り替えにあたって、次のようなプロセスでカラーデザインを進めてください。

プロセス1

どのエリアに立地するか確認します。



プロセス2

使用する色相グループを選びます。



プロセス3

工場全体に配慮しながら
個々の施設のカラーデザインを考えます。



●目次

- カラーデザインの進め方——①
- 富士市にふさわしい工場の色彩は——②
- 色彩ガイドラインのカラーシステム——③
- プロセス1——⑥
- プロセス2——⑥
- プロセス3——⑦
- カラーデザインモデルプラン——⑨



富士市にふさわしい工場の色彩は

1 富士山を美しく見せる工場の色彩

富士山を北側に背負う形となる工場は、近景に位置して陽射しを受け、はっきりと鮮やかに見えます。富士山を美しく見せるためには、明るさを押さえた彩度の低い色を使うことが大切です。

2 山の緑に調和した色彩

富士山腹の建物は緑の中に融和して存在を強く主張しないように、壁の色は明るい色を避けて木々の緑の明るさに近付けることが大切です。

3 山からの眺望に配慮した色彩

高台から市内を見下ろす地点が数多くあります。屋根の色を落ち着いた色にすることによって、統一感のある市街地景観を創っていくことができます。

4 統一感を形成する色彩

大工場と中小の工場が混在している富士市内は建物の形、大きさ、材質などがまちまちです。統一感や快適感を与える方法として色彩を上手に使うことが大切です。

5 エントツを生かした色彩

富士市内には5メートル以上のエントツが365本。シンボルのエントツの色彩だけを変えていっても、富士市のイメージチェンジができます。

6 海辺らしい景観をつくる色彩

田子の浦港には港湾施設、工場、漁港、石油基地のタンク群など、彩色可能な施設が湾を取り巻き、色彩計画が映える地区です。海辺らしい色彩景観を創ることが大切です。

7 富士山を生かす富士見大通りの色彩

富士見大通りは富士山を正面に見ながら走れる通りです。富士山を主役にして周辺は落ち着いた色彩景観にすることが大切です。

8 泉の郷にふさわしい色彩

見どころの多い泉の郷周辺の工場は、観光地の中というテーマで色彩を考え、名勝に調和した色彩にすることが大切です。

色彩ガイドラインのカラーシステム

【調和配色】

ひとつの建物、あるいは複数の施設の色彩設計をする際、次に示すいずれかの配色を使うと容易に調和感のある配色が得られます。

富士市工場地色彩ガイドラインは、配色調和を創りやすいカラーシステムを目指して組み立てられています。

●類似色相の配色

使用する色を同一あるいは類似の色相に限定して、色の濃淡を活かして組み立てる配色。

●類似色の配色

よく似た色だけを使って組み立てる配色で、色合い、明るさ、鮮やかさ共に近い色による配色。

●同一トーンの配色

明るさと鮮やかさが似通った色のグループを同一トーンの色といいます。あるひとつのトーンだけを使って色相に変化をもたせて組立てる配色。

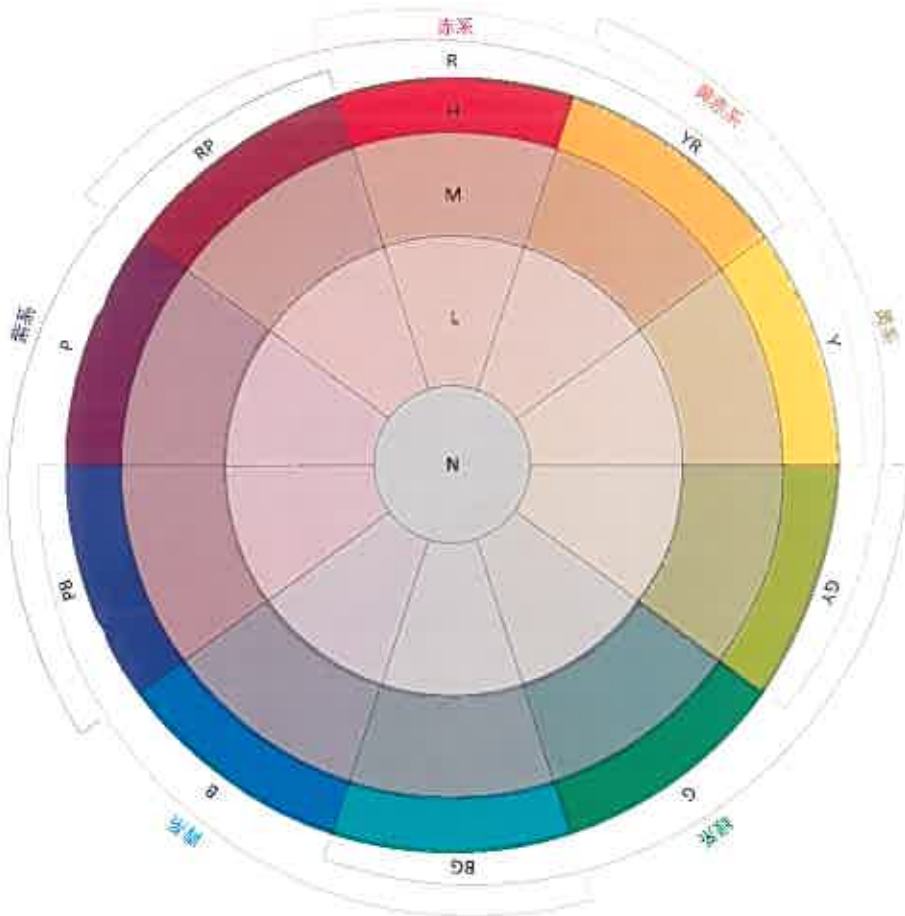
【色相グループ】

類似色相調和型や類似色調和型の配色が構成しやすいように、色相グループを設定しています。

赤、青などの色合いを示す色相を、マンセル表色系を使って分類しています。マンセル表色系は10種の色相に分けられますが、その内の連続する3色相づつをグループ化し、6種のグループを作ります。原則として、ひとつの工場（企業・事業所）はひとつのグループを選び、そのグループ内にある色を使って、工場施設を彩ります。

6種のグループは次のとおりです。

- 赤系グループ マンセル色相 RP, R, YR 系の色
- 黄赤系グループ マンセル色相 R, YR, Y 系の色
- 黄系グループ マンセル色相 YR, Y, GY 系の色
- 緑系グループ マンセル色相 GY, G, BG 系の色
- 青系グループ マンセル色相 BG, B, PB 系の色
- 紫系グループ マンセル色相 PB, P, RP 系の色



●マンセル色相環とトーン分割の概念図 — マンセル色相環

マンセル表色系とは…

マンセル表色系は、「色相 (Hue)」、 「明度 (Value)」、 「彩度 (Chroma)」 の3つの属性の組み合わせによってひとつの色を表すシステムです。

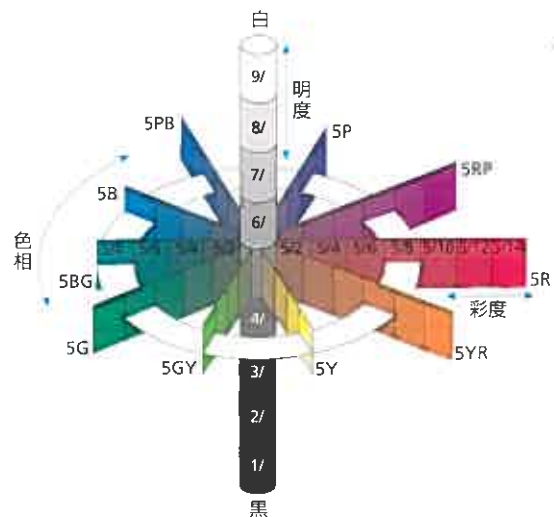
●色相は色合いを示し、円形の色相環を赤 (R) ・ 黄 (Y) ・ 緑 (G) ・ 青 (B) ・ 紫 (P) の5つの色相に分割し、さらにその中間の黄赤 (YR) ・ 黄緑 (GY) ・ 青緑 (GB) ・ 青紫 (PB) ・ 赤紫 (RP) を含めた10色相から更に細分化して表します。

●明度は明るさを0から10の数値で示し、数値が大きくなるに従って明るさが増すしくみになっています。色相をもたない無彩色はN9, N5.5などのように最初にNをつけて表します。

●彩度は鮮やかさを数値で示し、数値が大きくなるに従って鮮やかさが増すしくみになっています。

マンセル値の読み方

5R 4.0 / 14.0 (5R 4の14と読む)
色相 明度 彩度



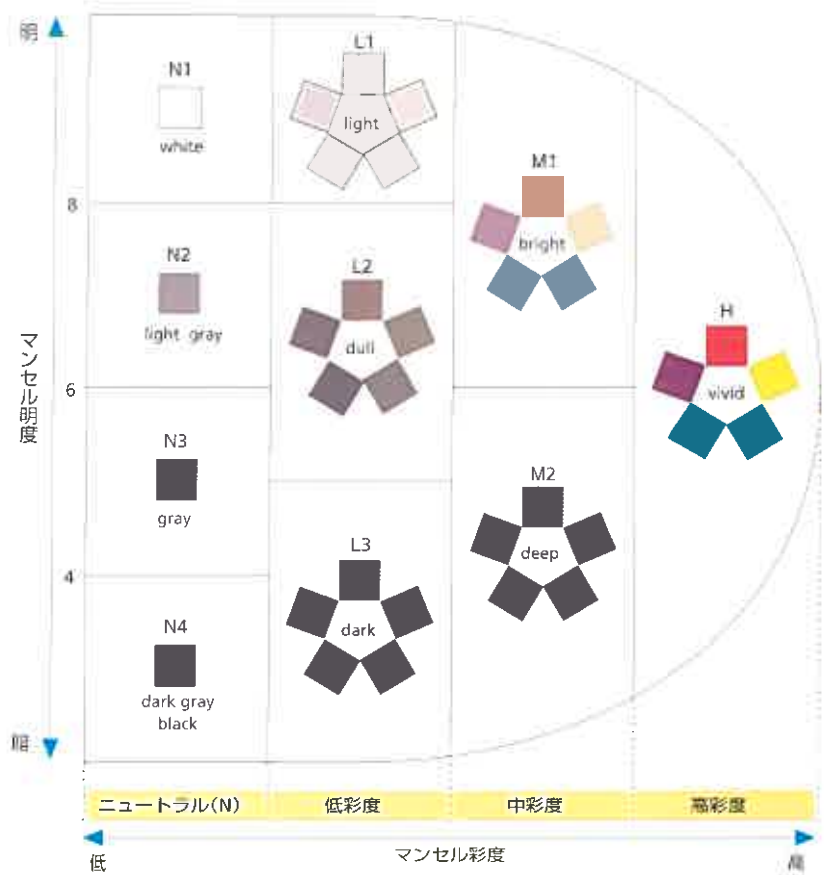
【トーン分類】

色の明るさと鮮やかさを示すトーンは、彩度（鮮やかさ）別に4段階に分け、更に明るさを加味して、最終的に10種のトーンを設定します。

- ニュートラルグループ N1、N2、N3、N4 トーン
— 白・灰色・黒の無彩色のグループ
- 低彩度グループ L1、L2、L3 トーン
— くすんだ穏やかな色のグループ
- 中彩度グループ M1、M2 トーン
— 色味の強い色のグループ
- 高彩度グループ H トーン
— 非常に鮮やかな色のグループ

【色相環とトーン分割の概念】

この色彩ガイドラインに用いるカラーシステムの色相環とトーン分割の概念図を左右に示しています。色相環上で隣り合う3色相により、それぞれグループを形成しています。またトーン図は、Nトーンを縦軸にして回転する立体になり、N軸から離れるに従い低彩度・中彩度・高彩度と鮮やかになっていく様子を示しています。



●マンセル色相環とトーン分割の概念図 — トーン図

【マンセル値の範囲で示す色相・トーン分類】

色の物差しであるマンセル値を使って色相とトーンの範囲を下に示しました。

塗料や建材の色のマンセル値を測ると、どの色相のどのトーンであるかが判り、便利です。

●トーンごとのマンセル値による範囲

●トーン	●色相										●トーン	●共通			
	R 赤系	YR 黄赤系	Y 黄系	GY 黄緑系	G 緑系	BG 青緑系	B 青系	PB 青紫系	P 紫系	RP 赤紫系					
L1	9.5~8	0.6~1.5	9.5~8	0.6~2.5		9.5~8	0.6~2				9.5~8	0.6~1.5	N1	9.8~8	0~0.5
L2	7.9~5	0.6~1.5	7.9~5	0.6~2.5		7.9~5	0.6~2				7.9~5	0.6~1.5	N2	7.9~6	0~0.5
L3	4.9~1	0.6~1.5	4.9~1	0.6~2.5		4.9~1	0.6~2				4.9~1	0.6~1.5	N3	5.9~4	0~0.5
M1	9.5~6	1.6~7	9.5~6	2.6~7	9.5~7	2.6~7	9.5~7	2.1~7	9.5~5	2.1~5	9.5~5	1.6~5	9.5~6	1.6~7	
M2	5.9~1	1.6~7	5.9~1	2.6~7	6.9~1	2.6~7	6.9~1	2.1~7	5.9~1	2.1~5	4.9~1	1.6~5	5.9~1	1.6~7	
H			9.5~1	7.1以上				9.5~1	5.1以上				9.5~1	7.1以上	
N1~N4: Neutral 1~4 L1~L3: Low Chroma 1~3 M1~M2: Medium Chroma 1~2 H: High Chroma															

〔日本塗料工業会標準色の利用〕

色彩ガイドラインを適用するにあたって2年に1回発行されるこの色見本帳を利用すると便利です。

●日本塗料工業会標準色見本帳は、古くから建築や工業の分野で使われている、日本で最もポピュラーな色見本帳です。

この色見本帳の色番号表示はマンセル表色系を用いて記号化されており、マンセル記号も記入されているため、前頁の色相・トーン分類が簡単に判ります。

下にこの色見本帳とトーンの対照表を示してありますので、色相とトーンを決めれば色を選ぶことができます。使いたい色がない場合は別の手段で色を指定してください。

なお、色番号の最初のアルファベットは発行年度を示すものなので省略してあります。(1995年度版はTです)。



塗料用標準色色見本帳／ポケット版(左)とワイド版(右)

●日本塗料工業会標準色の色相・トーン分類

●色相	●トーン							●ニュートラル	
	L1	L2	L3	M1	M2	H	トーン	N	
R	05-92B	05-75B	05-40B	02-90D	09-60L	05-50F	02-70T	09-50T	N-95
	05-90B	05-60B		02-60H		05-40F	05-50V	09-50X	N-90
	05-85B	09-60B		05-80L		05-30D	05-40V	09-30P	N-85
	05-80B			05-70L		07-30L	05-40X		N-80
				05-60F		09-50F	05-30T		15-90A
				07-80H		09-40L	07-60T		15-85A
				07-70F		09-30D	07-50V		19-90A
				07-60H		09-30F	07-40P		19-85A
				09-80D		09-20D	07-40X		19-80A
				09-70D			09-70T		25-90A
YR	15-92B	19-85C	12-70D	19-70C	15-40D	12-80F	19-85F	12-50L	12-70T
	15-90B	19-80B	15-75B	19-70D	15-20B	12-80H	19-80F	15-40H	12-60X
	15-85B	19-80C	15-70D		19-40D	12-70L	19-80L	15-30F	12-50V
	15-80B		17-70D			15-80F	19-70F	17-50F	15-70V
	17-90D		17-60D			15-70H	19-60F	17-50L	15-65X
	17-80D		17-50D			15-60F			15-60V
	19-92B		19-75B			17-80H			17-70X
	19-90B		19-75C			17-70H			17-50P
	19-90C		19-75D			17-70L			19-75X
	19-85B		19-70B			17-60H			
Y	22-90B	25-90D	22-75B	25-75C	22-40D	22-85F		25-50F	22-80V
	22-90C	25-85B	22-75C	27-70D	22-30D	22-85H		22-40H	22-80X
	22-85B	25-85C	22-75D	29-70B	29-40D	22-80H		25-40H	22-50P
	22-85C	25-85D	22-70B			22-80L		27-60L	25-80P
	22-85D	25-80B	22-70C			22-70H		29-40H	25-80W
	22-80B	25-80C	22-70D			22-70L			25-70T
	22-80C	27-85B	22-60C			25-85F			25-60P
	22-80D	29-92B	22-60D			25-70L			27-80T
	25-92B	29-85D	22-50B			27-85H			29-70P
	25-90B	29-80B	22-50D			29-90H			29-85P
25-90C		25-75B							
GY	32-90D	35-85B	37-60D		35-40B	35-80H		32-50L	32-70T
	32-80D	35-80D	37-50D		35-30B	35-70H		37-50L	35-70V
	35-92B	39-80D	39-60D			37-80L		39-60L	37-60T
	35-90B					39-80H			
G	45-92B		42-70D			45-60H		42-40H	42-50L
	45-85B		45-70D			49-80H		42-30H	45-70P
	45-80D		45-60D			49-70H		45-50H	45-50T
	49-80B							49-50H	45-40P
BG	52-90D		52-70D	59-50D	55-40B	55-80H		57-50H	52-60L
	55-92B		55-60B			59-60H		59-30H	52-50L
	55-90B		55-50D						59-70L
B			55-70D						59-60P
	65-90B		62-60D		69-20D	62-80H		67-40H	55-50P
	65-80B		65-70D			65-80H			59-40P
	65-80D		69-50D			69-80H			62-50P
PB						69-60H			69-70L
									65-70L
									69-60L
									65-60P
									69-50T
									65-40P
									69-30P
									65-20L
	72-80D	72-70D		75-40D		76-80H		72-30H	72-70L
	75-90B	72-60D							72-50L
75-80B	75-70D							76-50T	
P									72-50P
									77-60L
									72-40T
									77-40L
									75-70L
									77-40V
									75-60P
									77-30T
									75-40L
									77-20L
RP	85-90B					82-50H	85-60H	85-40D	82-40T
	85-80B					85-80D	87-60H		85-70L
RP						85-70D			
						85-60D			
	95-90B					92-80H		95-30H	92-50T
	95-80B					95-70H		99-40H	92-40V
						99-70H			99-30P
					99-60H			95-60P	
								95-50V	
								99-50X	

1

プロセス 1

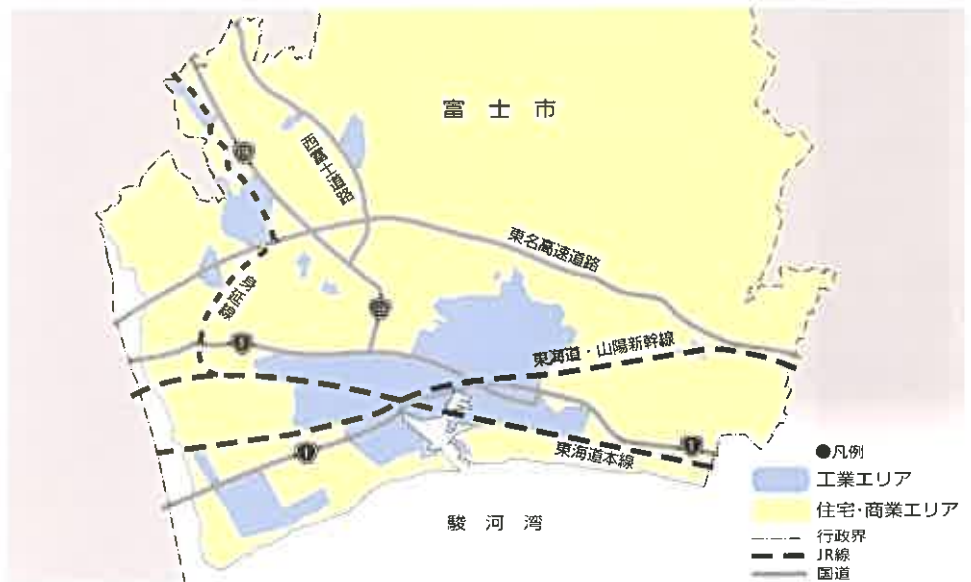
どのエリアに立地するか確認します。

【エリア区分】

工場が中心となるエリアと、住居が中心となるエリアに分けて考えます。
この区分は都市計画法による用途地域の種別等を使って以下のように区分します。

工業エリア	住宅・商業エリア
工業系の用途地域	住居系・商業系の用途地域

また用途地域以外の地域では、臨港地区と流通業務が多く立地する地区は工業エリアに準じて取扱い、市街化調整区域は、とりあえず住宅・商業エリアに準じて取扱います。この区分を地図上に示します。



色彩ガイドラインのためのエリア区分

2

プロセス 2

使用する色相グループを選びます。

【エリア区分と色相グループの関係】

工業エリアと住宅、商業エリアには次のように色相グループが割当てられています。

工業エリア	住宅・商業エリア
-------	----------

各事業所の自主性を尊重して、5つの色相グループから自由に選択できるように配慮しました。現在使われている色や、コーポレートカラーなどを考慮してひとつの工場（企業・事業所）は、この中からひとつのグループを選んでください。

住宅・商業エリアは、住宅やビルなどによく使われている黄赤系の色相グループを使うことにより、それらとの調和を図るように配慮しました。住宅と工場では規模の差が大きいため、周辺環境から突出した威圧的なカラーデザインにならないように考慮してください。

赤系グループ	黄赤系グループ
黄系グループ	
緑系グループ	
青系グループ	
紫系グループ	

プロセス 3

工場全体に配慮しながら
個々の施設のカラーデザインを考えます。

3

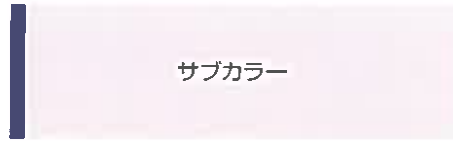
【配色方法】

建築物などに配色する際に、占める面積や部位により、次の3種類のカラーアイテムに分けて考えます。



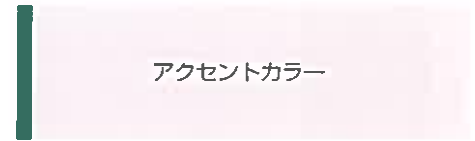
ベースカラー

外壁、屋根あるいは屋上の色などの外観部分の最も広い面積を占める色を指し、全体の基調となる色です。基調色とも呼びます。



サブカラー

ベースカラーを助けて、全体のカラーイメージやバランスを調整する色です。ベースカラーより少ない面積に用いられ、補助色あるいはアクセントカラーとも呼ばれます。



アクセントカラー

ベースカラーやサブカラーに対し、コントラストをもつ色で、小面積に使うことで個性を演出する役割をはたす色です。コーポレートカラーやサインの色もアクセントカラーのひとつとして扱います。強調色とも呼ばれます。

【カラーアイテムと適用部位】

3種のカラーアイテムを適用する場合の目安として、下に適用部位の例を示しておりますので、参考にしてください。

ベースカラー	サブカラー	アクセントカラー
●工場・建屋		
傾斜屋根、屋上、陸屋根、外壁、腰壁、シャッター	パラペット、軒先、幕板、腰壁、柱・柱型、梁・梁型、シャッター、扉、付属の小型プラント	アクセントパターン、社章・社名、扉
●事務所・ビル		
傾斜屋根、屋上、陸屋根、外壁、腰壁、シャッター	パラペット、軒先、幕板、腰壁、柱型、梁型、シャッター、扉、建具、下層階壁、外部階段	アクセントパターン、社章・社名、扉
●タンク・サイロ・プラント		
本体外面	外部階段、配管、脚部、防液堤	アクセントパターン
●煙突		
筒身	架構	アクセントパターン
●塀・フェンス		
塀面	脚部、柱、笠石・笠木	アクセントパターン

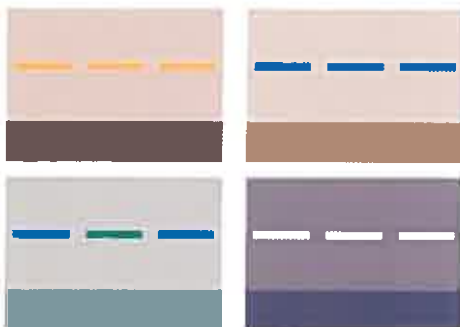
注) シャッターなどは大きさや効果・機能などによりうまく使い分けてください。

【建築物のための調和配色】

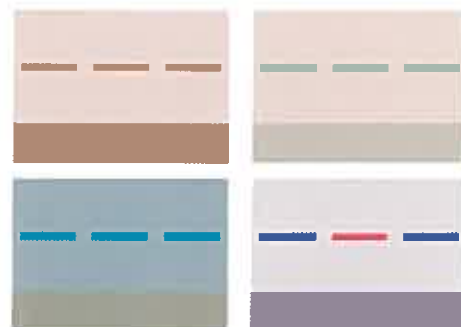
3種のカラーアイテムを適用する場合の目安として、下に配色の例を示しておりますので、参考にしてください。

図は、大面積の色がベースカラー、中面積の色がサブカラー、小面積の色がアクセントカラーです。

●同一または類似色相による配色例



●類似色による配色例



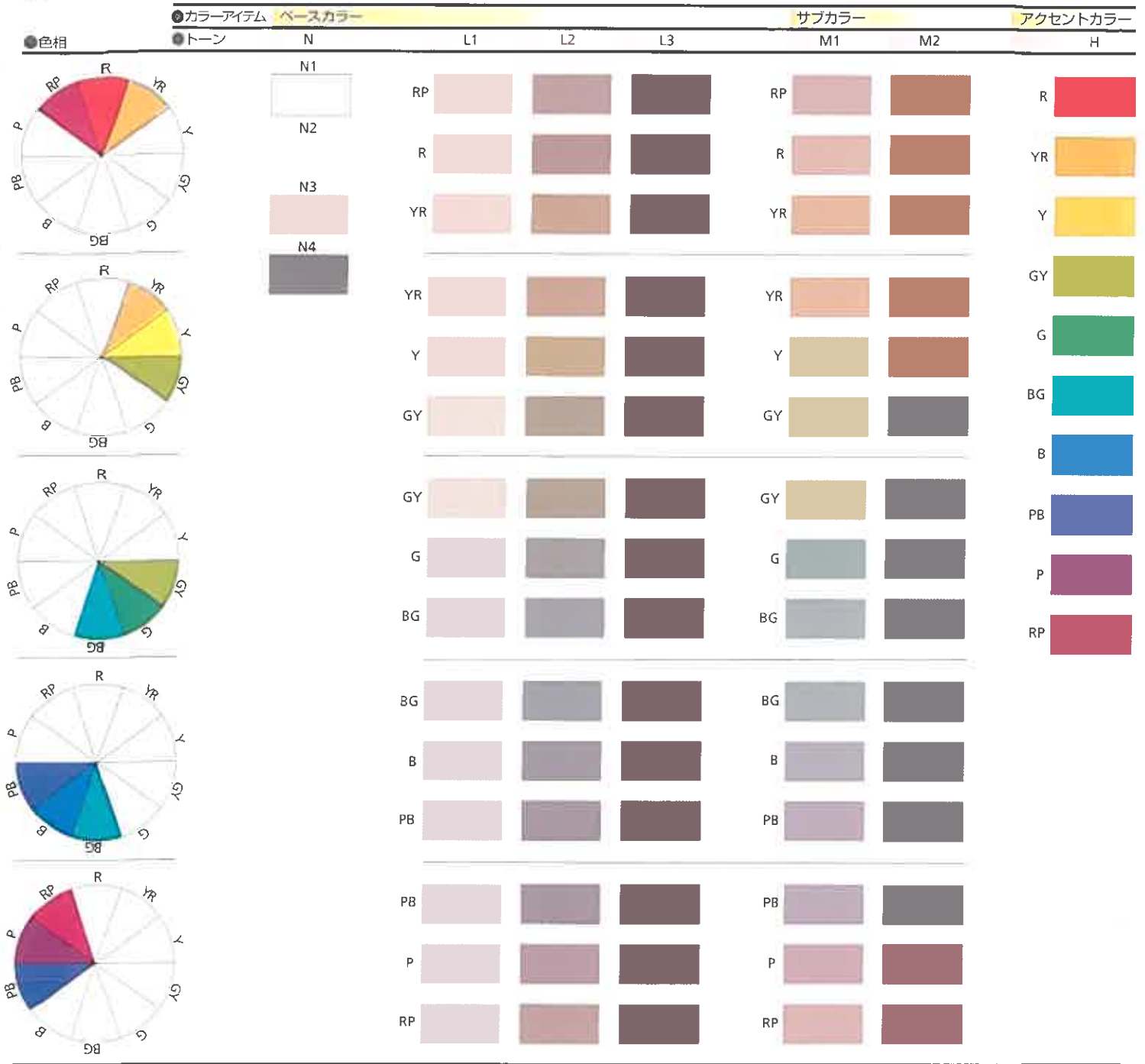
●同一トーンによる配色例



【工業エリアに使用できる色彩の範囲】

赤系、黄系、緑系、青系、紫系の5つの色相グループの中からひとつを選択し、この中から色を選んで色相調和型のカラーデザインを行ってください。下に代表的な色の例を示します。無彩色とアクセントカラーとしてのHトーンの使用は自由です。

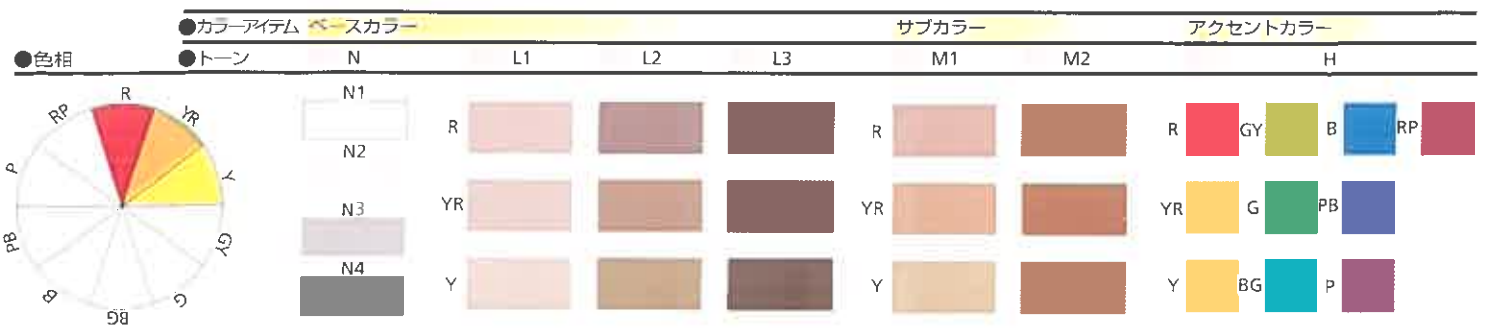
●工業エリアに使用できる色彩の範囲



【住宅・商業エリアに使用できる色彩の範囲】

住宅・商業エリアはマンセル色相で赤 (R)・黄赤 (YR)・黄 (Y) の3色相からなる黄赤系グループを用い、カラーデザインしてください。下に代表的な色の例を示します。無彩色とアクセントカラーとしてのHトーンの使用は自由です。

●住宅・商業エリアに使用できる色彩の範囲



カラーデザインモデルプラン



〔工業エリアのためのモデルプラン〕

ひとつの工場（企業・事業所）は、ひとつの色相グループをこれから使用する工場外装のための色彩の範囲とすることになります。

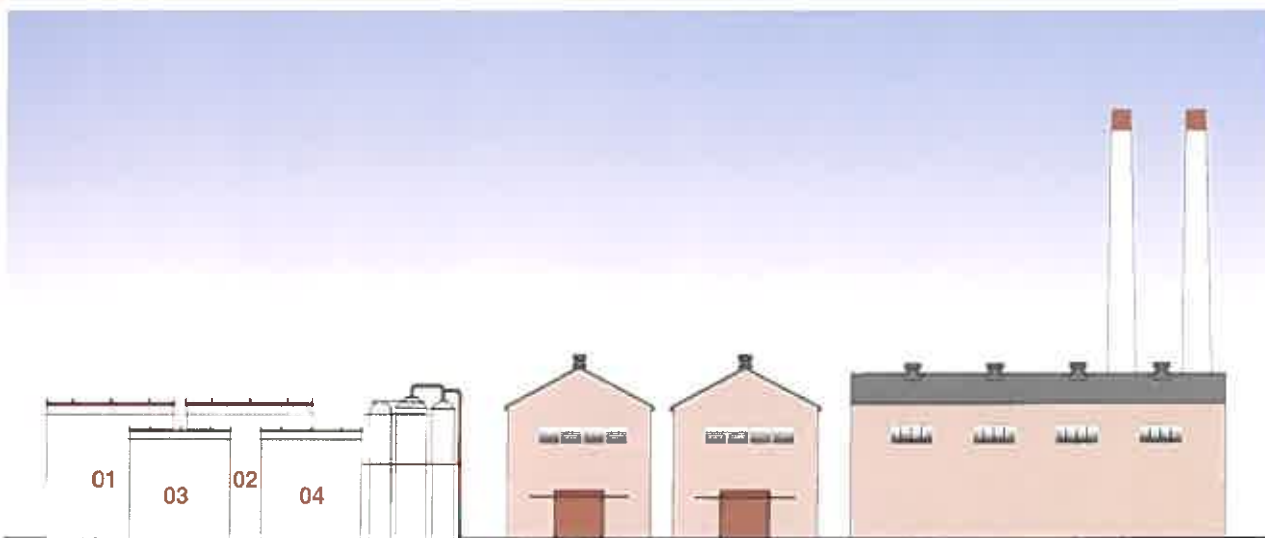
以下に、ひとつの色相グループを用いて行ったカラーデザインのモデルを紹介します。

類似色相型の配色が基本ですが、特定の施設群に限って、使用色相グループ以外の色相まで範囲を広げて、同一トーンの配色を試みても構いません。

注) 印刷色のため、正確な色表現にはなっていません。
日本塗料工業会標準色見本帳と照合して、ご覧ください。

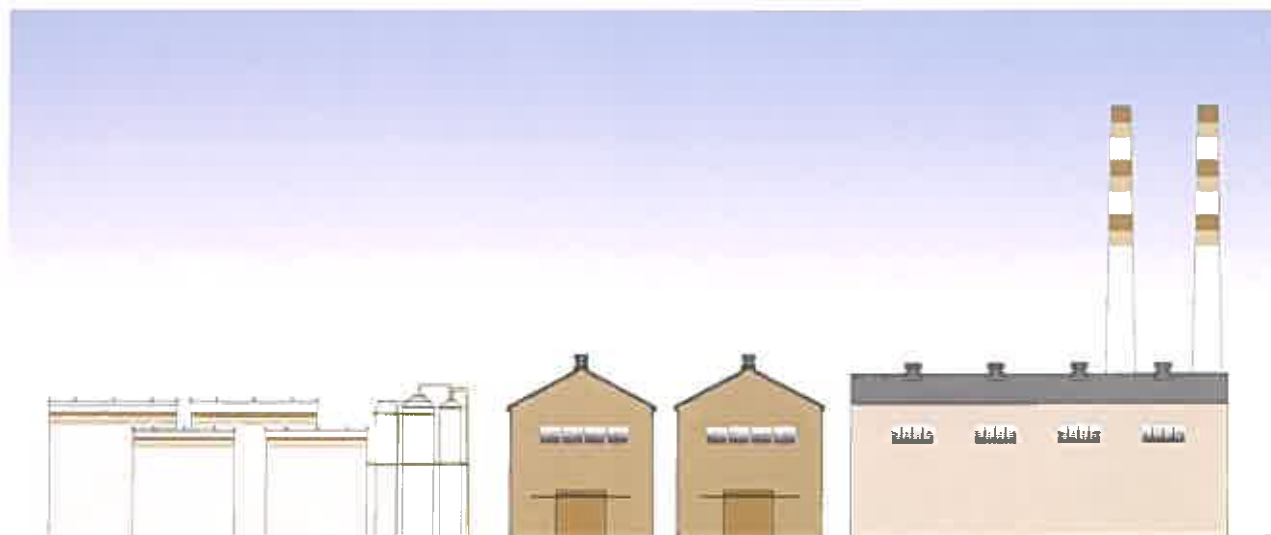
●赤系グループの色相を用いたプラン

最も基本的なカラーデザインで、暗い灰色の屋根に明るい薄茶色の外壁を用い、茶色のサブカラーを扉の色に使い、同じ色を白いタンクやプラントにアクセントとして使った類似色相型の調和配色のデザイン。



●黄系グループの色相を用いたプラン

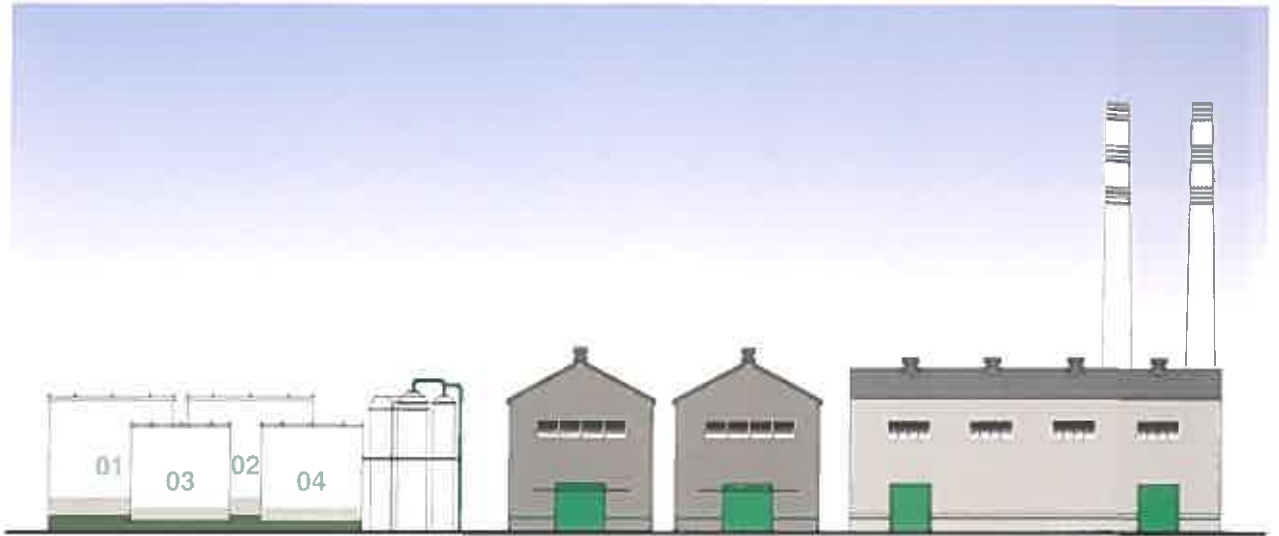
建屋の妻面と平面の色を変えて変化をつけ、濃淡2色のアクセントラインを設定して、タンクとエントツに用い、アクセントカラーのグループから鮮やかな黄色を選んだ類似色相型のデザイン。



●緑系グループの色相を用いたプラン

鮮やかな緑をアクセントカラーから選び、扉とパイプラインに使い、サブカラーからタンクのための色を選んでいる。タンクの数字で特徴をだしている、類似色相型のデザイン。

日塗工No.	色
N-95	白
N-90	淡青
N-55	黒
49-80B	淡茶
45-60D	緑
45-60H	青緑
49-70H	緑
42-40H	緑
42-50L	緑



●青系グループの色相を用いたプラン

明るい青の外壁に暗い青の腰壁をまわし、タンクを大胆に2色に色分けし大きな文字をデザイン的に使うことにより特徴をもたせた、類似色相型のデザイン。

日塗工No.	色
N-95	白
N-90	淡青
N-55	黒
65-80B	淡茶
69-60H	青
67-40H	青
65-40P	青



●類似色相の配色と同一トーンの配色を併用した工場のためのプラン

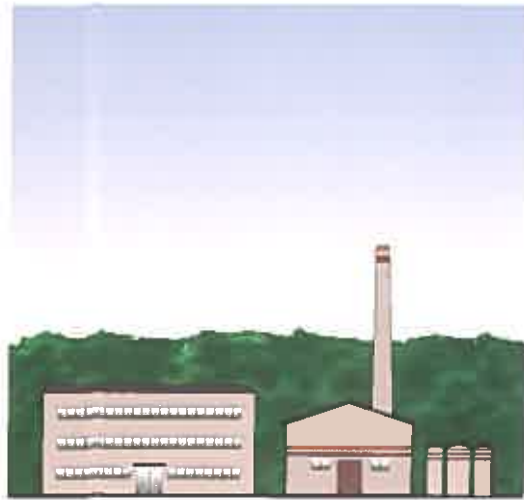
青系でまとめた建屋とプラントに対し、タンク群とエントツにトーン調和型のカラーデザインを併用した例です。同じL2 トーンの黄赤・黄・緑・青・青紫の色が用いられています。

日塗工No.	色
N-95	白
N-75	淡青
N-20	黒
17-60D	黄赤
22-60D	黄
45-60D	緑
55-60B	青
69-50D	青紫
72-60D	青紫
57-50H	青紫
77-40L	青紫

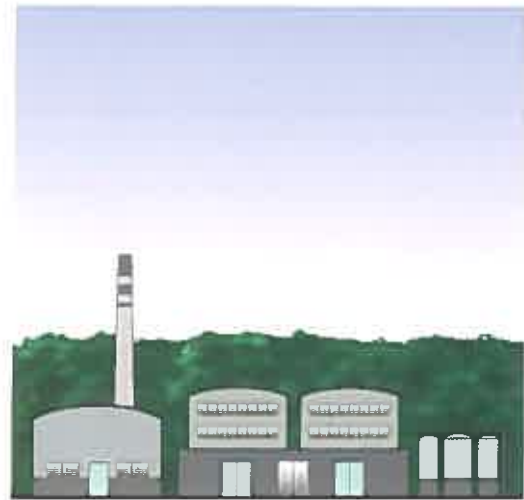


●山の緑を背景とする工場のためのプラン

富士山や樹林を背景とするような自然の緑のなかに建つ工場は、遠景から目立たないように、屋根や壁などの大きな面積を占める部分には、明るい色の使用を避け、緑に同化するように心がけることがたいせつです。N1 トーン、L1 トーンの広い面積での使用は避けてください。



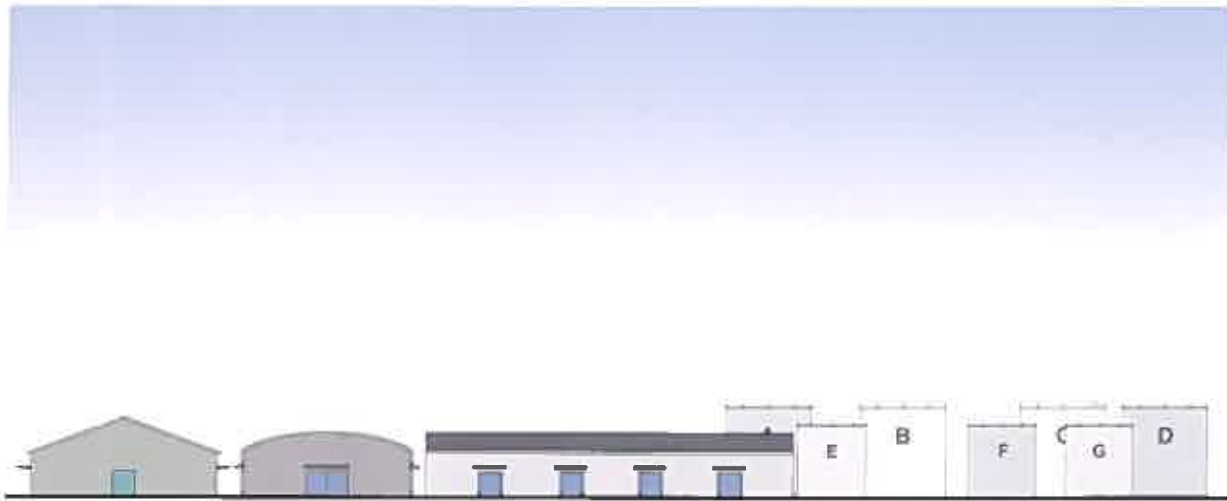
色	日塗工No.
Light beige	19-75B
Light tan	19-75C
Dark brown	15-20B
Black	15-30F
Orange	17-50L



色	日塗工No.
Light beige	N-75
Light green	45-70D
Dark grey	55-50D
Light green	57-70D
Light green	55-80H

●海辺の工場や倉庫のためのプラン — 1

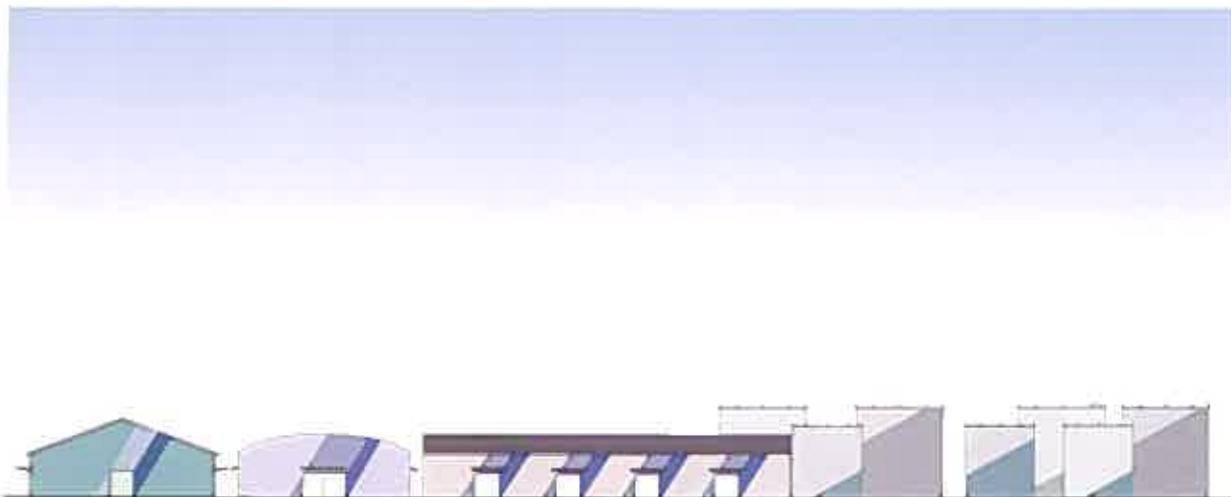
田子の浦 島港地区のような、青い海・青い空が大きく開ける海の雰囲気強い地区は、青や緑が似合うので、青系グループか緑系グループを採用してください。青系を用いた一般的なカラーデザインを示します。類似色相型のデザインです。



色	日塗工No.
White	N-95
Light beige	65-90B
Light grey	72-80D
Dark grey	55-60B
Dark grey	72-60D
Black	55-40B
Blue	59-60H
Blue	75-60P
Black	72-50L

●海辺の工場や倉庫のためのプラン — 2

アクセントカラーを積極的に使用した例で、タンクには青系グループに加えて、同じトーンの他の色相の色も使用しています。タンクの部分は類似トーン型のデザインです。ダイナミックな倉庫やタンク群の景観を創り出すことが、港の活性化につながるようになるでしょう。



日塗工 No.	色	日塗工 No.
N-90	Black	55-40B
65-80B	Light green	59-60H
55-85B	Light purple	76-80H
55-80D	Black	72-30H
75-80B	Light blue	72-70L
62-60D	Dark blue	72-40T
72-60D	Dark purple	77-60L
55-60B	Dark blue	77-40V

【住宅・商業エリアのためのモデルプラン】

住宅・商業エリアは黄赤系（YR）の色相グループの色を使ってカラーデザインを行ってください。

このグループが、住宅や商店などの外装色と最も馴染む色彩であるために選ばれています。

更に、工場エリアの富士見大通り沿道（通りの中心より左右各 100m 幅）にある工場施設は住宅・商業エリアに準じて黄赤系グループの落ち着いた色を用い、アイストップとなる富士山の眺めを阻害しないようにしてください。

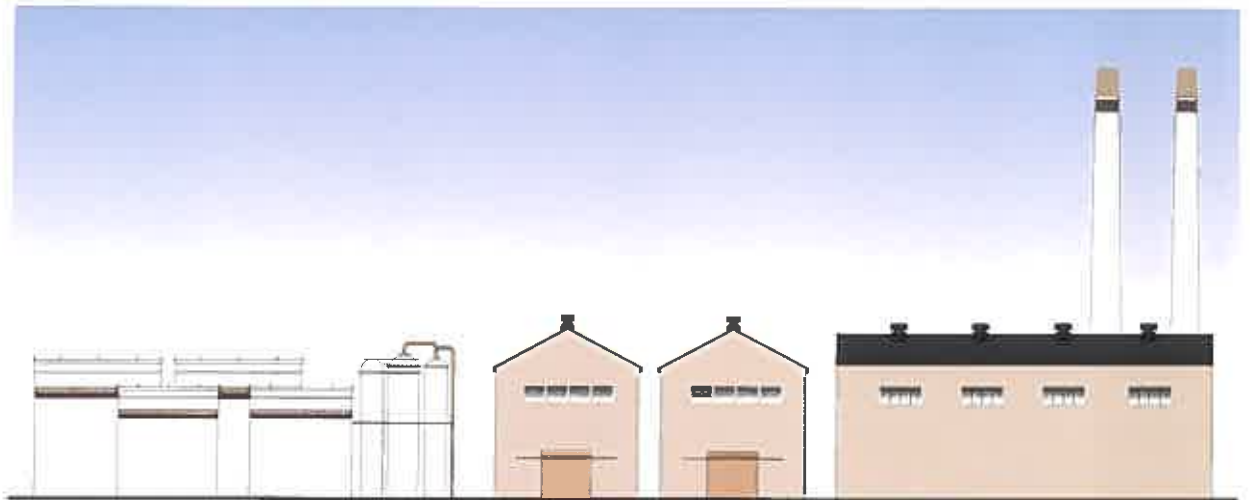


●住宅・商業エリアのためのプラン—— 1

住宅街にふさわしい薄茶色を基調にした落ち着いた類似色相型の配色デザインです。

アクセントは彩度の高い色を避けてサブカラーの中から選んでいます。

日塗工No.	色
N-95	White
N-90	Light Blue
19-80B	Light Brown
15-20B	Black
19-60F	Dark Brown
15-70H	Orange
15-30F	Dark Blue

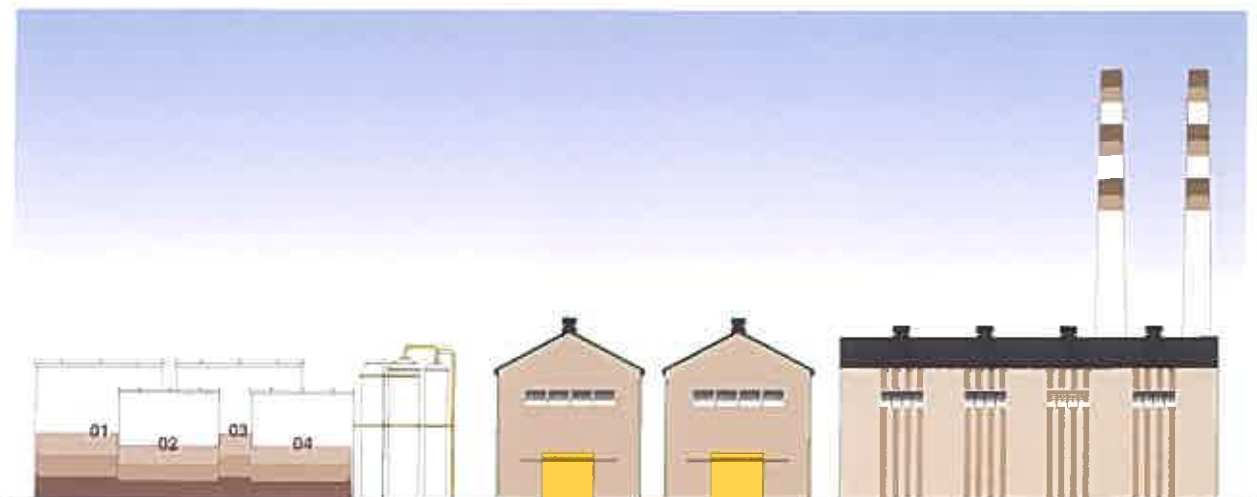


●住宅・商業エリアのためのプラン—— 2

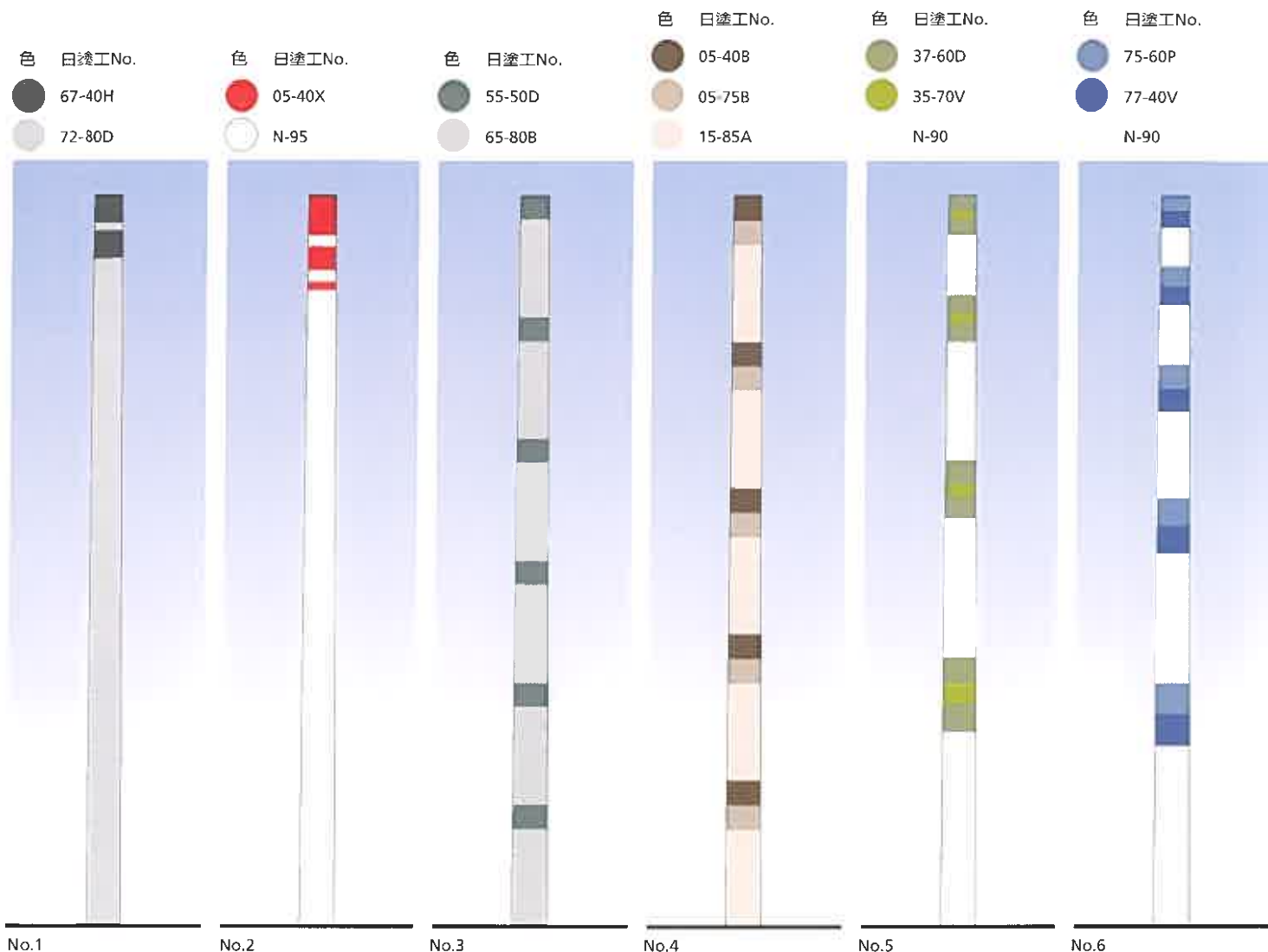
薄茶から茶色にかけての色を用い、

更に大面積の壁面やタンクの側面に色彩を使って、面を細分化することにより、規模の小さい住宅などとの調和をはかっているデザインです。

日塗工No.	色
N-95	White
N-90	Light Blue
19-80B	Light Brown
19-75D	Medium Brown
19-40D	Dark Brown
15-20B	Black
19-60F	Dark Brown
22-80X	Yellow



[エントツのカラーデザインモデルプラン]



- No.1 頂部にアクセントを入れ、類似色相の2色でまとめた空に融け込む軽快なデザイン。— 使用できる色のグループ：青系
- No.2 頂部に強い色彩を入れ、純白の筒身としたコントラストの強い目立つデザイン。— 使用できる色のグループ：赤・黄赤系
- No.3 類似色相2色配色による横ストライプのデザイン。意匠性と空への融和を両立させたもの。— 使用できる色のグループ：青系
- No.4 同色相濃淡の2色構成のストライプを等間隔配置して意匠性を高めたデザイン。— 使用できる色のグループ：赤・黄赤・黄系
- No.5 鮮やかな黄緑を配し、間隔を変化させた類似色相彩度対比のデザイン。— 使用できる色のグループ：黄・緑系
- No.6 類似色相濃淡の2色のストライプを白の中に間隔を変えて配置した明快なデザイン。— 使用できる色のグループ：青・紫系

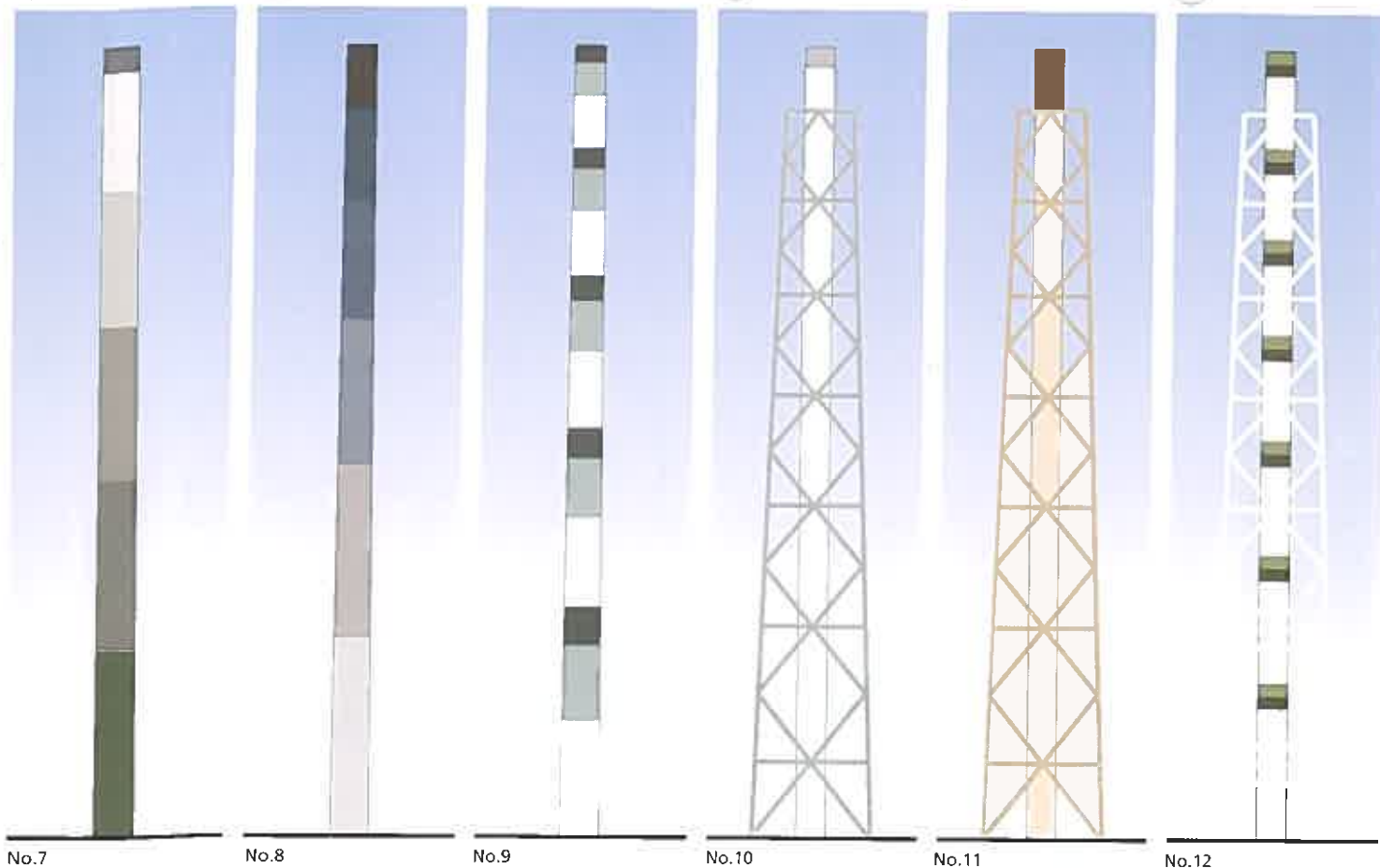


富士市は、市内に5メートル以上のエントツを365本も持つエントツの街です。

これらのエントツを美しく彩るだけでも富士市の工場地の景観は特徴のあるものになるでしょう。市内のエントツに共通感をもたせるために次のようなカラーデザインの原則を示しますので、守るように努力してください。

- 1** 事業所ごとに選択された色相範囲を用いてデザインしてください。
 - 2** ベースカラー、サブカラー、アクセントカラーの秩序を守ってデザインしてください。
 - 3** 水平線によって分割するデザインを採用してください。
- これにより赤白塗り分けのエントツとの共通感も生まれてきます。

色 日塗工No.	色 日塗工No.	色 日塗工No.	色 日塗工No.	色 日塗工No.
● N-50	● 72-30H	● 67-40H	● 15-40D	● 37-60D
● N-85	● 2.5PB4/4*	● 65-80H	● 19-85B	● 35-40B
● 5B7/1*	● 2.5PB5/3.5*	● 67-40H	● 19-70B	○ N-90
● 5B6/1*	● 2.5PB6/3*	● 65-80H	○ N-95	○ N-95
● 5B5/1*	● 2.5PB7/2.5*	○ N-90		
● 55-40B	● 72-80D			



- No.7 下から上へ明るくなる明度グラデーションによる安定感のあるデザイン。— 使用できる色のグループ：緑・青系
- No.8 下から上へ暗くなる明度彩度グラデーションによる空の色の階調に似たデザイン。— 使用できる色のグループ：青・紫系
- No.9 下方へ濃から淡へのグラデーションを使い間隔を変えて繰り返したデザイン。— 使用できる色のグループ：青系
- No.10 白い筒身とグレーのフレームの無彩色のみによるいずれのエリアにも使えるデザイン。— 使用できる色のグループ：全て
- No.11 頂部の汚れを目立たないように考えた類似色相3色によるデザイン。— 使用できる色のグループ：赤・黄赤・黄系
- No.12 類似色相濃淡2色のストライプによる意匠性の高いデザイン。フレームに白色を使用。— 使用できる色のグループ：黄・緑系

* 日塗工にない色は、マンセル系などで選んでください。

相談窓口

工場の新設、外装の塗り替えなどのご相談、
この色彩ガイドラインについての問い合わせは下記にお願い致します。
富士市 都市整備部 建築指導課
TEL:0545-55-2903
富士市永田町1丁目100番地 〒417

●富士市の工場地色彩ガイドライン

発行日—平成8年3月

発行—富士市都市整備部都市計画課

編集制作協力—(株)カラープランニングセンター

レイアウト・デザイン—(株)勝井デザイン事務所

印刷—望月印刷(株)

行政資料登録番号—7-58

